人にやさしく
地球にやさしい
大日新聞
44号

大日化成株式会社
〒571-0030　大阪府門真市末広町 8-13
TEL：06-6909-6755　FAX：06-6909-6702
URL：http://www.dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法　水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます
BIGSUN
RX工法

ビッグサンMR工法導入事例

金属屋根の防水改修工法としてご好評いただいております「ビッグサンMR工法」ですが、今回は学校の体育館屋根にMR工法が採用された事例を二つ紹介させていただきたいと思います。

事例1）横浜市内、某中学・高校体育館屋根改修

大手設計事務所からの問い合わせがあり、横浜市内にある某中学・高等学校創立百周年の建築計画の一環で、既存の3階建て体育館の改修計画が持ち上がりました。当初設計事務所は金属屋根カバー工法を検討していましたが、塗膜防水による改修も検討したいとの事でした。そこで、ビッグサンMR工法で施工可能な下地なのか現況を見てほしいと依頼があり、設計の方と現地調査を行いました。既存はカラー鋼板の瓦棒（七七七㎡）。塗装は薄ら残っている状態、錆の発生もそれほどひどい状況では無く、ハゼのカシメ部もひどく開いている箇所は有りませんでした。特別な事前補修は必要なく、充分MR工法にて施工可能と判断し、遮熱防水仕様であるMR-1工法をご提案し採用いただきました。

◆採用理由

①設計見積もり段階で塗膜防水の方が金属屋根カバー工法よりも格段に安かった事。

②建物の構造上、耐震性の問題からあまり屋根荷重を増やしたくない事。が主な理由でした。

事例2）千葉市内、某大学体育館屋根改修

千葉市内にある某大学の施設担当の方からMR工法について問い合わせがありました。インターネット上で金属屋根防水について調べていて弊社のMR工法にたどり着いたとの事でした。以前から体育館で漏水が発生しており、そのたびにシーリング材などで応急的な補修は行っていたようですが、部分的な補修では漏水が解消されないため、屋根全面の防水改修検討に踏み切ったようです。

設計見積もりの依頼をいただき現地調査を行いました。既存はガルバリウムの丸馳折板（二三〇〇㎡）。錆の発生はほぼ無い状態でしたが、ハゼ部の開きが所々大きい箇所がありました。

MR工法で施工する場合、ハゼやジョイント部はMRテープという専用の補強テープを使用しますが、丸馳へのテープ貼りは困難なため、当現場ではシーリング材充填処理を推奨し、その上でMR工法の施工をする事を提案、採用いただきました。

作業中の臭気が気にならない環境対応型の材料でありながら、防水・防錆・遮熱効果が期待できる点を気に入って頂いたのはもとより

◆採用理由

①体育館を使用しながらの工事となるため、既存屋根へのアンカー打込みが必要な工法（塩ビシート防水機械固定工法、金属屋根カバー工法等）は極力避けたい事。

②海岸が近く海風などが強い事もあり、スプレー工法等飛散の恐れのある工法は避け、手塗りで施工できる塗膜防水を希望されていた事。が主な理由でした。

さて、今回ご紹介させていただいた採用例のように、既存の建物の改修工事では様々な制約が付きまといます。

環境対応かつ軽量な高柔軟性ポリマーセメント系塗膜防水「ビッグサンMR工法」は、防水効果、防錆効果、遮熱効果といった様々なメリットでお客様のご要望にお応えしております。

2009年上市以来、多数の施工実績からもその性能・効果は実証済みです。金属屋根の改修工事には、ビッグサンMR工法を是非ともご検討ください。

防水材には下地調整材は重要です

改修工事の際、どのような防水材や塗料を使用するにも、下地調整が非常に重要な要素となります。

既存の下地はモルタルやコンクリートだけではなく、ウレタン防水であったり、FRP防水であったり、時には磁器タイルであったりと建物によって様々です。

既存下地の材料とこれから施工する塗材の相性が悪いと、最悪の場合せっかく塗った材料が剥がれてきてしまったりする事がありますが、このような時に活躍するのが下地調整材です。

弊社の水系エポキシ系下地調整材「**スカイレジンエポフィラー**」は発売開始から今年で15年目を迎え、各種改修工事現場で大変好評を戴いております。

今回は改めて「**スカイレジンエポフィラー**」の優れた性能について紹介させて頂きます。

エポキシポリマーセメント材料なのに完全2材型

今までのエポキシポリマーセメント材料は、主剤・硬化剤・粉材の3材型でした。

「スカイレジンエポフィラー」は主剤と粉材を1つにする事で、**完全2材型**の材料とする事に成功しました。

2材型になった事で材料の混合ミスが無くなるだけでなく、主剤のエポキシ樹脂と粉材を1材化することで、粉材は湿潤感のある性状となり材料混合時の粉塵の発生が減少しました。

また、材料の容器も2／3になり、結果的にゴミの量も減らすことができ、水系材料である事と併せて、地球環境に優しい材料となっています。

界面活性剤を使わない画期的なエポキシポリマーセメント

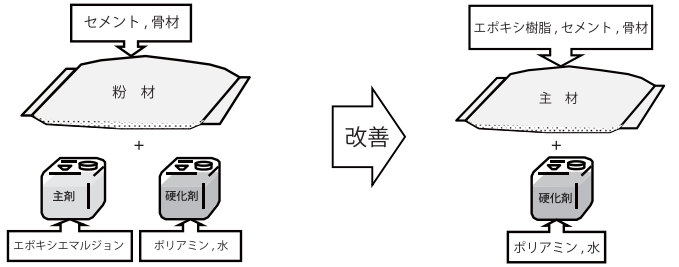
界面活性剤が硬化後の材料中に残留していると、材料の耐水性や耐薬品性に悪影響を及ぼすだけでなく、材料強度も低下させてしまいます。従来型材料では、エポキシ樹脂をエマルジョン化するためにやむを得ず使用されていたのですが、「スカイレジンエポフィラー」は、この界面活性剤を使用せずにエポキシ樹脂をエマルジョン化する事に成功。

界面活性剤を含んでいないため、エポキシ樹脂の持つ強力な付着力、耐溶剤性等の優れた性能を活かす事が可能になり、ビッグサン防水材等の水性材料はもちろん、ウレタン防水やFRP防水等の溶剤系防水材の下地調整材としても活用して頂けます。

「スカイレジンエポフィラー」をまだ使った事がないというみなさま、是非一度お試し下さい。

必ず「**スカイレジンエポフィラー**」のファンになって頂けると思います。

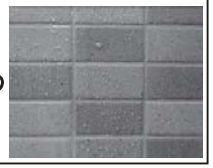
一般的なエポキシポリマーセメント　　スカイレジンエポフィラー



こんなところで活躍しています

工場屋根（VUS500）

スカイコートW
＜タイル張り面の透明外壁防水材＞
透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした1液型外壁用透明防水材です。
透明な塗膜タイル仕上げの意匠性はそのまま!!



スカイレジン＜下地調整材＞
スカイレジンWE
エポフィラー
プライマーE
EPC－T
水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。
溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です！

BIGSUN **ラピタルエース**
＜速硬型軽量プレミックスモルタル＞
コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル

速硬
軽量
厚塗り可能
取扱簡単!!
冬用ビッグサンとセットでどうぞ!!

海外の緑化事情　ニューヨークの緑化事情 Vol2

http://www.ryokka.org/

前回に引き続き、NYCの緑化事情です。

ニューヨークと聞くとなにかわくわくする気がします。世界経済の最先端。観光やファッション・レストランとおしゃれ感があります。

そのNYCの屋上では一風変わった緑化が始まっています。

屋上菜園です。高級グルメスーパーの屋上に千二百坪ものビニールハウスを設け、野菜を栽培しているのです。産地直送。屋上で生産した野菜を一階の店舗で販売するのです。究極の産地直送です。

ニューヨークの人々は、グルメな人が多くベジタリアンも多い。ベジタリアンでなくても野菜を食べお米でさえヘルシーな野菜として食べられているそうです。

その為に上から下ですので、移動時間も皆無ですので、これ以上の新鮮さはありません。

そしてもう一つ。屋上緑化としての効能。ヒートアイランド現象の緩和です。気温の上昇は喫緊の課題でしょう。さらに、もう一つ注目すべき効能は、産地直送。つまり上から下なので輸送に伴うコストが掛かりません。

つまりトラックなどの輸送が必要ありません。その為に、それらの排出する熱量をカットすることが出来るのです。

また高さにもよりますが、屋上は害虫の影響も受けにくいという利点もあります。そうなると苦労が少なく無農薬野菜も実現できるのです。

一石二鳥も三鳥にもなるのです。

もっとも屋上菜園と言っても簡単にはできません。ビルを建造した際には、屋上に水分を含んだ土を何トンも敷設するなど検討されていないためです。

続きは緑化スタイルwebサイトにてご覧下さい。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び
大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

スタッフ紹介

日頃は営業活動やお電話で応対させていただいておりますスタッフの日常をお伝えいたします。

いつも大日新聞を御愛読いただき、ありがとうございます。

営業部長の松本哲治です。入社したころ部長という役職は、雲の上の存在という感じでしたが、現在は私のような若輩者が担当しております。

早いもので入社後約25年営業部員として、活動しており、人生の約三分の一を大日化成と共に過ごしています。

営業部という部署は簡単に言うと顧客との窓口業務です。主に売り上げを上げるための活動をする部署で、顧客である商社・販売店・施工店とお付き合いしながら、日々の継続の注文を頂きます。

非常に地味ですが、重要な仕事です。サッカーのポジションでいうところのDF、GKといったところでしょうか？これくらいで良いだろうと、営業マンが少しずつ力を抜いて顧客への営業（訪問）頻度が少なくなると顧客からの質問の電話が減り他メーカーの営業マンがいいタイミングで営業に訪問し要望に応えるなど様々要因が重なり、いつの間にかライバルメーカーのFWに、「注文というゴール」を決められてしまい少しの油断が命取りです。

また、新規顧客開拓という仕事も営業にとって非常に重要です。売り上げというのは継続顧客だけに頼っていると、次第に減少傾向となります。そのため定期的に新しい売り上げを獲得する必要が有ります。

FWの仕事です。難度の高い仕事で、ゴールに向かって、数を打てば良いというものでもありません。新規顧客は選別して、営業をかけます。シュートを打つべきか、打たないべきか？時には打たないという勇気も必要です。支払い能力、将来性等を見極めるため、普段からの勉強・情報収集も必要と考えます。

現在の私は、守備と攻撃のどちらも行っています。いわばMF（中盤）です。普段は守備的な位置で日常の売り上げを確保するため顧客への営業活動をしています。

先日も事務所にかかってきた問い合わせ電話を新規の売り上げに結び付けるため、守備的な位置から、オーバーラップして、攻撃態勢に入りました。相棒である「技術部」というパサーが加わり、攻撃に厚みが加わりました。ゴールが決まったかどうかは、今度営業で訪問した際にお話ししたいと思います。

DAINICHI CHEMICAL CO.,LTD.

●本社
〒571-0030　大阪府門真市末広町 8-13
TEL：06-6909-6755(代)　/　FAX：06-6909-6702

●東京支店
〒105-0012　東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F
TEL：03-3436-3801(代)　/　FAX：03-3436-3803

URL：http://www.dainichikasei.co.jp

Vol.41

映画で学ぶ環境問題

プロジェクトA2 史上最大の標的
原　題：Project A II
監　督：ジャッキー・チェン
製　作：ジャッキー・チェン
　　エドワード・タン
出演者：ジャッキー・チェン
　　マギー・チャン
　　ロザムンド・クワン
　　カリーナ・ラウ
上　映：105分
公　開：1987年7月25日（日本）
製作国：イギリス領香港（制作時）

今回は、アジアが生んだ世紀のアクションスター、ジャッキー・チェンの代表的シリーズ第2弾「プロジェクトA2 史上最大の標的」（PA2）です。

この作品は、ブルース・リー亡き後の香港映画界で、めきめき頭角を現したジャッキーが、「脱カンフー映画」を宣言し、見事大成功を収めた前作「プロジェクトA」から4年ぶりに製作された続編で、この間に「ポリスストーリー・香港国際警察」や「サンダーアーム・龍兄虎弟」などヒット作を連発していたジャッキーが、「サンダーアーム」撮影中に、頭蓋骨骨折で死にかけるケガをおい、入院中に次々あふれ出るプロットをまとめた集大成としても見応えのある作品です。

ただ前作と違って、サモ・ハン・キンポーやユン・ピョウとのBIG3共演作ではないことや、前作があまりに偉大すぎたため、一般での認知度は今ひとつのようです。しかし実は、セットも物語もスケールアップしていますし、主演だけでなく、監督も原案も脚本もジャッキーがこなし、アクションもカメラワークもこっていてひとつひとつのシーンも緻密な作りのため、まさにジャッキーの脂が乗り切った時期の傑作というにふさわしい映画です。

内容は、革命前夜の混沌とした香港で、やくざの親玉タイガーと手を組む悪徳警察署長チンと、ジャッキー扮する正義の警官ドラゴンとの戦いを、革命家や海賊も巻き込んで描くアクションコメディになっていて、シリーズ続編ではあるものの、本作だけ見ても十分に堪能できます。

さて今回、学んで頂きたい環境問題は、香港の工事現場で組まれる足場が未だに「竹」であることです。ラストシーンで悪徳警察署長が、お祭りの大看板の下敷きになるシーンで「竹の足場」を見ることができるのですが、本作が時代劇のため、「まさか未だに竹を使っているなんて！」と日本からの旅行者が驚くようですが、未だに香港の工事現場では、超高層ビルの現場でさえ、竹が足場で組まれています。

（ちなみにこのラストシーンは、ジャッキーによる喜劇王バスター・キートンの『キートンの蒸気船』へのオマージュとしても有名です。）

実際に現代劇である「ラッシュアワー2」（ハリウッド作品）でも、チャン・ツィイー演じる女殺し屋が、香港市中で主役2人と追争するシーンにも、竹の足場が効果的に使われており、もはや香港アクション映画の定番シーンともいえるかもしれません。

香港の人によると、竹は丈夫で軽く、柔軟で運びやすく、組立や解体が容易で、燃やしても捨てても（埋めても）地球環境に優しく、なおかつ安価というのが最大の理由のようです。そのうえ、日本と違って地震が少なく、高温多湿な香港では鉄がさびやすいこともあるようです。ただし、竹の足場を組める職人は、訓練校に通った有資格者のみということで、これも日本と違ってユニークな話ですね。

さて、ジャッキーに話を戻しますと、永遠のアクションヒーローも、今や64歳。

にも関わらず、今年放映されたドラゴンクエストのCMでは、未だ衰えぬ勇姿を見せてくれていますし、興行収入や俳優収入（出演料）も、昨年度の世界トップ圏内のジャッキー。

とはいえ、「カンフー・ヨガ」や「スキップ・トレース」、「レイルロード・タイガー」は、PAシリーズやポリスストーリー・シリーズに比べて緻密さにかける作品が多く、個人的にはファンとして、何か寂しいものを感じます。

ただ、今後も中国資本の作品が目白押しで撮影されているようですし、ハリウッドでは、いよいよ待望の「ラッシュアワー4」も始動とのことですので、今後益々の活躍を楽しみにしておきましょう！